

57年度一般  
会計予算

# 総額五十七億三千万円



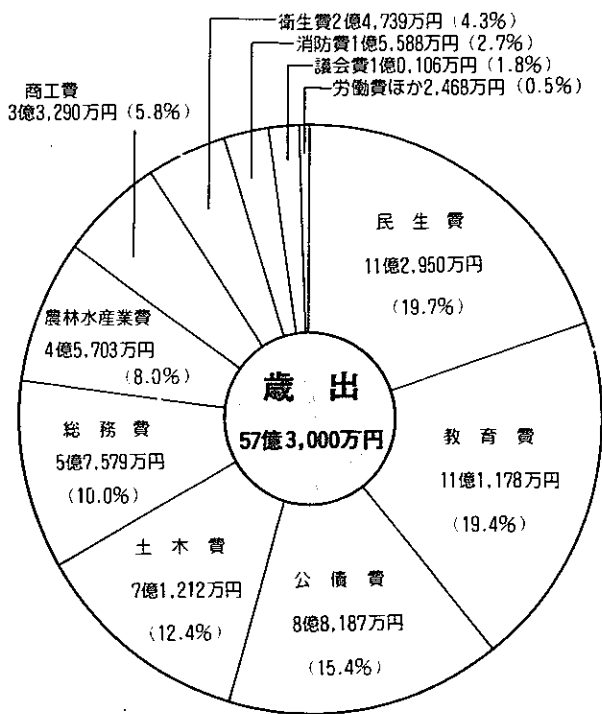
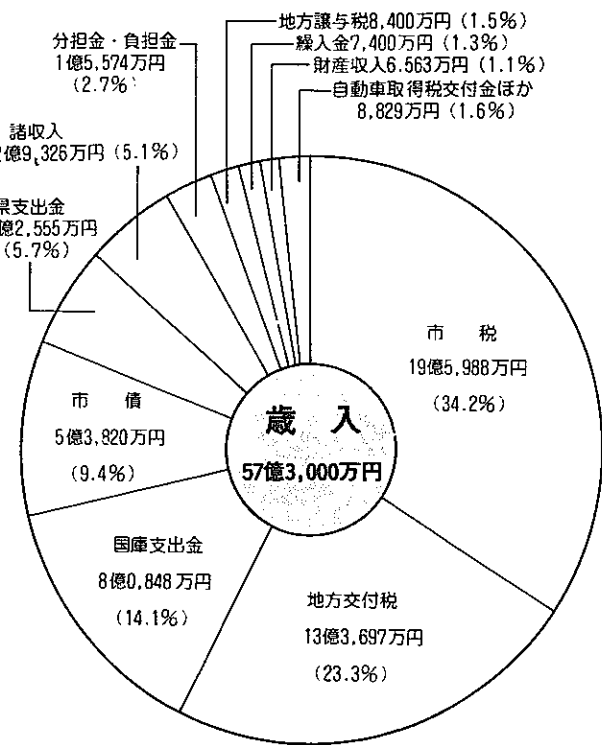
信濃川沿い庄瀬地内の堤防低部対策工事



みなさんから要望の多い道路整備に、今年も力を注ぎます



市民の憩いの場として、中央通り周辺に児童公園を設置します



昭和五十七年度の一般会計当初予算が、五十七億三千万円（対前年当初予算比六・七%減）に決まりました。

予算の編成にあたっては、人件費、物件費などの消費的経費を抑制し、市の総合計画に沿いながら事業実施していくことを基本に、それらの計画の中から選択し予算付けをしました。また、今年度は事務事業検討委員会から答申のあった補助金や委託料について見直しを行い、これらの結果を予算に反映させました。

以下、新年度の主要な施策の概要をお知らせします。

## 安全で快適な生活の確保

▽道路整備  
みなさんから要望の多い道路整備に、今年度も力を注いでいきます。

### ▽児童公園を設置

宅地開発の著しい中央通り周辺に、幼児の遊び場と市民の憩いの場としての児童公園を設置します。

### ▽東幹線排水路整備は五三%に

都市下水路工事は、東幹線排水路を主体に実施していきます。今年度は二百八十八回を行い、年度末で、全延長の五三%を完成する予定です。

### ▽治水・利水対策

信濃川、中の川の治水・利水対策は、当市にとって重要な課題です。昨年度は、暫定的に信濃川沿いの庄瀬、大郷地内の堤防低部対策工事が着手されました。引き続き、全体計画が早期に達成でき

ます。公共事業として用地買収に取り組んでいる臼井バイパスについては、早期着工を強く県へ働きかけていきます。

市道整備では、国道八号線から四ツ野野鍋湯線までを改良舗装するほか、全体で四・七キロメートルを改良、八・一キロメートルを舗装していく計画です。このほか、農道整備事業も積極的に取り入れ、一路線でも多く整備していく考えです。

また、今年度から三か年計画で四ツ野野鍋湯線の下木山地区から田中地区までの間に歩道を設置します。

### ▽地域生活センターを建設

地域のみなさんの活動の拠点と日常生活のよりどころとして、毎年、各地区に地域生活センターを建ててきました。今年度は、新飯田地区に一億四千九百万円で地域生活センターを建設します。

### ▽消防施設の整備

市民の防災意識を高めるとともに、施設面では防火水槽五基、消火栓三十五基、小型動力ポンプ四台を整備します。

### ▽市民サービスの向上

市民生活課窓口には障害者のための受付台や、ベビーサークルを設置し、市民サービスの向上に努めます。

## 地域福祉の推進

地域に密着した福祉実現のためきめ細かな施策を行っていきます。身障者、精薄者対策として、声の広報の貸し出し、日常生活用具の給付、施設への入所措置を行うほか、昨年開所したミニコロニー「いずみの里」の作業棟建設の助成を行います。また、県身障者体育大会の地区大会が本市で開催されることから、受け入れ体制の強化に努めます。

老人福祉対策では、お年寄りが活力ある生活を送れるよう基盤づくりを進めます。生きがい対策として、老人クラブへの助成や趣味クラブ、スポーツ活動の育成普及に努めていきます。在宅者に対しては、家庭奉仕員や介護人の派遣短期保護事業、さらには福祉電話の貸与などを行います。また、お